

付録C 自己診断機能

このプリンターには、次の4つの自己診断機能が内蔵されています。

- 初期診断テスト
- 作動時異常検出機能
- 印字テスト機能
 - － 幅の狭い印字テスト：72桁
 - － 幅の広い印字テスト：136桁
- トレース機能

C.1 初期診断テスト

この診断テストは、プリンターをリセット(電源投入、またはシステム・ユニットからのリセット信号を受信)したとき、または印字テスト終了後に自動的に働き、操作パネル上のランプおよびスイッチのテスト、内部回路のテスト、ヘッド・キャリアーのホーム位置検出テストを行います。自動給紙機構がセットされていれば自動給紙機構の動作テストも行います。


これらのテストで異常が検出されなければ初期診断テストは最大約10秒で完了し、プリンターの各機能の初期設定がなされて印刷を始める状態になります。異常が検出されれば操作パネル上のランプとメッセージの表示によって異常の内容を操作員に知らせます。

異常時の対策は、 C.2.1 『診断テスト異常対策』(本ページ)を参照。

C.2 作動時異常検出機能

この機能は、プリンターが作動状態にある場合に働くもので、キャリアー・ドライブ・モーターの動作、ドライブ電圧、記憶域への書き込みなどの状態を監視しています。異常が検出されれば操作パネル上のランプとメッセージの表示によって異常の内容を操作員に知らせます。

C.2.1 診断テスト異常対策

初期診断テストおよび作動時異常検出機能によって異常を検出した場合は、点検ランプが点灯すると同時にブザーが鳴り、メッセージの表示によって異常の内容を表示します。異常の場合のメッセージの意味は、 第7章『メッセージ集』(7-1ページ)を参照。

この状態が起こった場合、プリンターの電源スイッチを切りそのまま約30秒ほど待った後、再び電源スイッチを入れてください。

再度同じ状態で停止する場合は、プリンターの故障です。電源スイッチを切り、電源コードを抜き、販売店に連絡してください。

C.3 印字テスト機能

印字テストには72桁と136桁の印字幅の2種類があり、いずれも内蔵された英数カナ文字を使って指定された印字パターンを印字します。

このテストでは、プリンターを移動した場合およびインク・リボン・カートリッジを交換したときなどに、プリンターが正常に印刷するかどうかを確認します。

印字テストの場合は、通常の印字とは印字速度も文字パターンも異なりますが、これは異常ではありません。また印字テスト中に用紙がなくなったり用紙づまりやカバー開放等を検出したときは印字を停止し、これらの状態が解除された後、印刷スイッチが押されると続けて印字します。

C.3.1 幅の狭い印字テスト

このテストの実行方法は、次のとおりです。



重要

このテストを行うには、単票用紙では横幅210 mm (A4縦) 以上、連続用紙では8インチ (203 mm) 以上の用紙を使用してください。

これより幅のせまい用紙で印字テストを行うと空打ちとなり、印字ヘッドやプリントベースを破損することがあります。

1

印刷不可状態において、下段選択スイッチを押します。



- 2 次項目スイッチを押して「1 オフライン インサツ」を選択し、設定スイッチを押します。



- 3 次項目あるいは前項目スイッチを押して「インジ テスト」を選択し、設定スイッチを押します。



- 4 「72 ケタ (桁)」を選択し、設定スイッチを押します。



C.3.2 幅の広い印字テスト

このテストの実行方法を以下に示します。



重要

このテストを行うには、単票用紙では横幅364 mm (B4横) 以上、連続用紙では横幅13インチ (330 mm) 以上の用紙を使用してください。

これより幅のせまい用紙で印字テストを行うと空打ちとなり、印字ヘッドやプリントベースを破損することがあります。

最大印字幅は、13.2インチまたは13.6インチに設定してください。

 4.1 『初期設定機能』(4-1ページ) を参照。

- 1 印刷不可状態において、下段選択スイッチを押します。



- 2 次項目スイッチを押して「1 オフライン インサツ セッテイ・キーテ スタート」を選択し、設定スイッチを押します。



- 3 次項目あるいは前項目スイッチを押して「インジ テスト」を選択し、設定スイッチを押します。



- 4 次項目あるいは前項目スイッチを押して「136ケタ (桁)」を選択し、設定スイッチを押します。



- 5 印刷スイッチを押します。
印刷可ランプが点灯し、1行136桁の指定された印字パターンを繰り返し印字します。



- 6 印刷を停止するには、印刷スイッチを押して印刷不可状態にした後、取消スイッチを押します。
初期診断テスト実行後、印字前の状態に戻ります。

C.4 トレース機能

トレース機能を実行する手順を以下に示します。



このテストを行うには、単票用紙では横幅364 mm (B4横) 以上、連続用紙では横幅13インチ (330 mm) 以上の用紙を使用してください。

これより幅のせまい用紙で印字テストを行うと空打ちとなり、印字ヘッドやプリントベースを破損することがあります。

- 1 印刷不可状態において下段選択スイッチを押します。



- 2 次項目または前項目スイッチを押して、「6 トレース モード」を選択し、設定スイッチを押します。



印刷可能状態になります。

データを受信すると、以下のようにコード・データをすべて16進数で印字します。

```

0000 1B 7E 12 00 01 11 1B FA 18 7E 04 00 02 02 .....xB.....
0020 05 0D 18 25 35 00 1F 3E 01 80 03 02 00 01 ...x5...x3...x1.R...>...
0040 02 00 00 02 00 00 00 00 00 00 3C 00 00 FF .....<.....<.....
0060 03 01 81 87 02 00 00 02 00 7F F0 00 00 00 .....<.....<.....
0080 00 00 00 00 00 00 00 3C 00 02 03 80 02 05 C1 .....<.....<.....
00A0 01 9C E3 00 F0 70 00 00 0F 00 02 06 00 02 03 .....<.....<.....
00C0 00 02 03 00 02 00 00 02 00 00 00 00 1F 1E 03 .....<.....<.....
00E0 E1 1F 03 06 00 00 00 04 00 FC 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0100 00 00 00 00 00 00 00 00 00 FF FF 03 FF FF 00 00 .....<.....<.....
0120 20 00 00 20 00 00 00 00 18 0D 02 00 19 02 00 21 .....<.....<.....
0140 02 00 41 02 00 80 00 02 01 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0160 00 01 00 00 01 00 00 00 01 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0180 00 00 00 00 00 00 00 C0 00 02 00 01 01 80 03 .....<.....<.....
01A0 00 FF FE 00 7F F8 00 07 80 03 02 00 01 02 00 .....<.....<.....
01C0 00 02 00 00 02 00 00 00 00 00 00 00 00 01 .....<.....<.....
01E0 00 00 01 00 00 01 00 1B 25 31 00 11 80 00 .....<.....<.....
0200 00 80 00 00 80 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0220 00 00 00 00 80 00 00 00 21 80 00 00 80 00 .....<.....<.....
0240 00 80 00 00 80 00 00 80 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0260 00 00 00 00 80 00 00 80 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0280 00 00 00 00 00 00 00 00 00 80 00 00 18 25 .....<.....<.....
02A0 33 00 0A 18 25 31 00 08 80 00 00 80 00 00 .....<.....<.....
02C0 18 25 33 00 66 18 25 31 00 00 80 00 00 80 .....<.....<.....
02E0 00 00 80 00 00 80 00 00 80 00 00 80 00 00 .....<.....<.....
0300 80 00 00 80 00 00 80 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0320 00 00 00 00 00 00 00 0A 18 25 31 00 14 .....<.....<.....
0340 80 00 00 80 00 00 80 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0360 00 00 00 80 00 00 00 00 00 00 0D 18 25 35 .....<.....<.....
0380 00 20 18 25 33 00 E3 00 30 00 00 30 00 00 .....<.....<.....
03A0 30 00 00 30 00 00 30 00 00 00 3E 00 00 30 00 .....<.....<.....
03C0 00 30 00 30 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
03E0 00 00 0E 00 1E 00 00 0F 18 25 33 00 13 .....<.....<.....
0400 18 25 31 00 34 00 00 07 20 00 00 18 00 0F .....<.....<.....
0420 00 00 07 00 06 00 00 00 20 00 00 20 00 00 .....<.....<.....
0440 20 00 00 20 00 00 00 00 00 07 00 00 1F 00 .....<.....<.....
0460 00 18 00 00 20 00 20 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0480 00 00 00 00 00 00 00 00 00 30 00 00 30 00 .....<.....<.....
04A0 30 00 18 25 35 00 18 00 40 08 00 40 08 00 .....<.....<.....
04C0 40 08 00 40 08 00 10 00 00 F1 E0 00 11 F0 .....<.....<.....
04E0 00 80 08 00 40 00 40 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0500 00 00 00 00 00 00 00 00 00 D8 10 00 8F E0 00 .....<.....<.....
0520 07 00 00 00 00 00 00 00 00 00 20 00 00 20 .....<.....<.....
0540 00 20 00 00 20 00 20 FF C0 00 83 E0 00 00 .....<.....<.....
0560 30 00 00 18 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....<.....<.....
0580 FC 00 00 FF C0 00 00 30 00 FF E0 00 FF 80 .....<.....<.....
05A0 00 78 00 00 00 00 00 00 08 00 00 08 00 00 .....<.....<.....
    
```

印字仕様は145桁、12 cpi、6 lpi（初期設定値により異なります）、高速で行われます。このモードでは、印字確認スイッチおよび高速印刷スイッチは機能しませんが、それ以外のスイッチは通常モードと変わりません。また、印刷不可状態で改ページスイッチを押すと、プリンター・バッファ内にあるデータをすべて印字した後に改ページを行います。取消スイッチを押すと、このモードから抜けて、初期診断テストが実行されます。なお、このモードはすべてのインターフェース（パラレル、USB、ネットワーク）に対応可能です。

Note トレース機能の実行中は、紙圧調整以外のメニューは選択できなくなります。メニューの選択は、取消スイッチでトレース機能を終了させてから行ってください。